

産業建設常任委員会

委員長 正 磯登一 苗龍
副委員長 濱口今村 坂本
委員 委員 委員

合志市防災会議条例の一部を改正する条例

問 女性の起用を5名とした根拠は、少ないのではと思うが。
答 35名中5名で良いのか、迷うところですが、今後意見を聞きながら検討したい。

平成24年度合志市一般会計補正予算について

問 須屋支所を移転したが問題はないか。
答 今回のところ好評を得ている。駐車場がセンター利用者の多いとき、多少不便であるが、支所の道前に6台分の駐車スペースを確保したので、今後様子を見ていく。



須屋支所

平成25年度合志市一般会計予算について

問 LED防犯灯設置について計画はないのか。
答 国からLEDの補助の件で話があつており、市でも計画を提出する準備をしているが、採用されるかはまだわからない。

税金等のコンビニ収納は、いつからするのか。

答 平成25年度で関係各課にてシステム改修を行い、平成26年度からの運用を予定している。

観光物産振興協会の組織については。

答 事務局長は、当面市職員が兼務し、現在地域ブランド協議会の地域ブランドプランナーとして勤務する嘱託職員が協会職員となる。また、各種業務を最初から実施するのではなく、小さい規模から徐々に大きくしていく。最終的には行政から切り離す。

リフォーム助成について、商品券を使える店舗が少なくないか他の自治体はどうか。商品券の有効期間が3か月とあるが根拠は。

答 宇土市、菊池市は商品券で助成している。助成金が少しでも多く地元にもわるように考えた。また、年度内に利用してもらうこと

合志市都市公園に係る特定公園施設の設置に関する基準を定める条例について

問 この条例の内容と今後市として進める対応は。
答 高齢者・障がい者等が利用する近隣公園について移動等円滑化のために必要な駐車場やトイレ等の施設基準を新規に制定するもので、新しく作る公園については、適合させるが、財政上の問題から既存の公園については順次整備していく。

平成24年度合志市一般会計補正予算について

問 土壌診断助成金の減額25万円というのは対象者が少なかったのか。
答 JAへのチラシ、および農業委員会だよりやホームページに載せてPRしたのだが、なかなか申請件数が伸びなかった。地下水汚染防止のためにも今後、補助のあり方等の検討をして進めていく。

緊急経済対策分として道路改良工事(13事業)に1億8,500万円が計上されているが、工事期間はどうなっているのか。

答 路面性状調査に3〜4カ月かかり、その調査結果を基に設計を

平成25年度合志市一般会計予算について

問 土地所有者だけでなく、現在土地を借りている人にも、今後の営農について意向調査を行なう必要があるのでは。
答 今後の営農について、規模拡大の意向がある人を地域の担い手として位置付けており、その目的と仕組みを農家に伝えていき農業の振興に役立てる必要がある。

市道改良事業、やさしいまちづくり整備事業の中でカラー舗装が計画されているが、その効果は。

答 交差点、通学道路等にカラー舗装実施しているが、具体的な効果は明確に提示できないが、車道を少し狭くして路側部分をカラー舗装することで、より安全に通行できるかと考えている。また、市民の方よりの評価も頂いているのでカラー舗装をすべきところには、実施していく。

住宅耐震診断をして改修を申し込んだ場合、上限20万の補助ということだが、算定基準はどうなっているか、また、申し込みが多かった場合は補正での対応となるのか。

問 集中豪雨による道路冠水防止策として調整池整備の面積・規模と今後の対応は。
答 本年度は若原雨水幹線調整池用地として大池に、4,300㎡規模で考えており、詳細設計はこれからである。



拾八町笹原線改良予定現場

を前提に受付・工事・完了から逆算して3か月とした。有効期間については、中小企業活性化会議で議論したい。

ユーパレス弁天の指定管理者はどうするのか。採算は取れるのか。

答 本館は指定管理者を公募し、物産館は観光物産振興協会が管理する考えである。採算については施設の目的を健康福祉施設とするか、観光施設とするかで違ってくる。条例では健康福祉施設と位置づけている。不採算部門のレストランの改善を検討する。

(反対討論)

主に情報企画費の中の住基ネット分を反対する。4情報の本来自治体が管理すべき情報を、国が電算化によって集約するという住基ネットの管理システム、住基カードのあり方については非常に危険性が高いということ。また、総合健康センター大規模改修費でセンター管理を行政が運営するというのは疑問が残る、膨大なランニングコストが掛かるのは当初から言われていたし、一貫してユーパレス弁天のあり方について批判してきたので、認めることが出来ないで反対する。



ユーパレス弁天



物産館

国の施策に基づく予算で今後の行政サービスに必要な予算であると理解します。ユーパレス弁天改修予算についても、施設の老朽化や運営内容も見直しの時期が来ているし、今後、施設を充実させるためにも必要な予算と考え賛成する。

下水道長寿命化対策事業の内容は。

答 須屋浄化センター汚泥処理施設、すずかけ台汚水中継ポンプ場等について老朽化対応の改修工事を行う。

平成25年度合志市水道事業会計予算について

問 御代志第2配水池築造工事は計画どおりできるか。また、硝酸性窒素の件もあるので、泉ヶ丘配水池、新開配水池をそちらに切り替えるのはいつか。
答 平成25年度中に工事を完成させたい。そして配水管、ポンプ能力等設備検査確認の上、早期切り替えを検討する。



御代志第2配水池築造工事現場